

飲食店の立て直しに、女将（おかみ）さんを登用してはいかが一。提案型アパレル業のエニーズ（大阪市西区、川崎昌子社長）は、客足が伸びない飲食店の切り盛りを「接客のプロ」に任せること、立て直しを図る店舗運営代

行事業に乗り出す。スナックで勤めるなど接客経験が豊富な女性を飲食店の「女将」として活用するユニークな事業。全国展開する居酒屋チェーンと具体的な話を進めており、早ければ今年7月にも1号店がオープンする。

飲食店再建の力で「女将」

「接客のプロ」活用

エニーズ 店舗運営を代行

川崎社長は平成十二年、シングルマザーや離婚経験のある「世帯主」の女性のパワーを生かそうと、エニーズを設立。当初はアパレル業に絞って事業展開してきたが、今年一月から、豊かな販売経験をもつ社員を衣料品店に出向させ、販売促進など店舗運営にかかわ



るすべての業務を代行する「リテール・エージェンツ事業」を始めた。同事業が大阪府堺市のシャツ専門店で成果を上げたことから、新たに食品業界への拡大を検討。この話を知った居酒屋やそば屋などから引き合いが来ているという。「女将さんプラン」と

即戦力

名付けた新事業で、店長と調理場以外のすべてを切り盛りするホールマネジャー（女将）として、接客経験の豊かな女性を登用。アルバイト店員もすべてエニーズで教育を積んだ人材に切り替え、店舗を再建する。

とくに、不況で店を閉めるスナックなどが少なくないため、そうした店で勤めてきた人材を積極的に活用する考え。エニーズに店舗運営を委託する企業にとっても、アルバイト募集や研修のコスト・手間を削減できるメリットがある。

川崎社長は「飲み屋街で働いていた女性は接客経験が豊富で、従業員の管理能力もある。幅広い人脈も持っており、その力を生かさない手はない」と、こうした女性の活躍に期待している。

このほか、同社は主に化粧品やアパレル業界の店頭販売員、航空業界の客室乗務員を対象に、女性相談員による再就職支援事業も展開する。問い合わせはエニーズ（06・65537・0400）へ。